

令和6年2月6日

足立区立竹の塚中学校

校長 宮地 豊 様

足立区立竹の塚中学校

開かれた学校づくり協議会

## 令和5年度 学校関係者評価書

### 1 自己評価書全般について

#### 重点的な取組事項ー1 学力向上アクションプラン＝「基礎学力の定着」

区の学力調査の通過率では、昨年度の62.4%から60.5%と1.9ポイント下がった。ICT機器も導入され、AIドリル活用強化月間では、平均解答数809問と組織的な取組の結果との報告もいただいております。新学習指導要領に移行し「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し各教員の授業力を向上させるとともに教科で指導方法等を改善し、わかりやすい授業の構築など基礎学力の定着をさらに推進していただきたい。

学習コンテスト全校合格率は、国語76.5%、数学89.6%、英語75.0%と結果を残し、多くの生徒が満点賞を取った。「家庭学習強化週間」を年に4回設け、生徒の意欲喚起と共に保護者への意識啓発を行った。課題提示や確認方法も工夫し、教科で行うことで内容も充実させた。英語の力も高いと聞いております。より一層の学力の定着を図っていただきたい。

#### 重点的な取組事項ー2 小学校との連携＝「9年間を見据えた教育活動の接続」

一小一中の連携に加えて、近隣小学校7校の6年生にむけて、「小学生向け学校だより」を年3回発行し、さらに円滑な接続を図るために広報活動の充実を図っている。西保木間小学校には本校3年生のボランティアを募り、12月上旬に「読み語り会」に出向いている。

また、中学校体験として、ペットボトルロケット飛ばしやせんべい焼き体験などを実施した。充実した教育活動を柱に、小中の交流を深め、学習の連続性と教科指導におけるギャップ解消を課題に取り組んでいただきたい。

#### 重点的な取組事項ー3 心の教育の充実

生徒会では「いじめ0宣言」を発信しアンケート調査を行うなど、生徒のいじめ防止に対する意識は高い。また、人権週間などへの取組を通して、人権尊重の意識を学校全体で醸成している。このような意識がいじめの芽を小さいうちに発見し、未然防止につながっていくものと考えます。来年度も引き続き生徒主体の取り組みを柱に、心の教育に取り組んでいただきたい。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

落ち着いた雰囲気です1年間の教育活動が行われている。基礎学力の定着、小中連携、心の教育等の課題は、区の課題ともよく一致し、是非とも最大限の努力をもって取り組んでいただきたい。

ボランティア活動では、地域清掃で多くの生徒と教職員に参加していただいた。交流が図れることは地域の喜びとするところであり、地域の学校という意識を高めながら教育活動がさらに活気にあふれたものになるよう教職員一同の努力を期待します。

### 3 その他

運動会、文化発表会、学校参観なども従来のスタイルに戻った。学校だより等を活用して、地域に対しての情報発信が適宜行われており、学校の状況が伝わっている。地域としても学校の発展と生徒の健全育成のため、協力と支援を惜しまないつもりである。